

# 神戸電子専門学校 2019年度シラバス

## ■科目基本情報

科目名	整音技術	科目コード	8290
シラバスコード	196C58-8290		
授業時数/週	3時間		
開講年次・学期	2年次 通期		
必修/選択区分	選択必修		
担当教員	中塚 祐介		
教員の実務経験	実務経験のある教員による授業科目		
職業実践専門課程		連携企業等	
備考			

## ■科目詳細情報

授業概要	ノイズに敏感になる、ノイズを防ぐという事を授業を通して身につける。
到達目標（前期）	整音の基礎を身につけ、整音する事の大切さを知る事を目標とする。
到達目標（後期）	役割を決め、動画作品を完成させる事を目標とする。
授業方法	講義と実技
実践的教育の内容	耳を鍛えるという部分と、効率的な整音を学ぶ事が実践的といえる。
評価方法（前期）	課題提出 / 50パーセント 役割（監督、リーダーは加点） / 25パーセント、作品クオリティ / 25パーセント
評価方法（後期）	課題提出 / 50パーセント 役割（監督、リーダーは加点） / 25パーセント、作品クオリティ / 25パーセント
授業外における学修	課題が宿題になる可能性あり
授業計画（前期）	第1週 整音とは 整音する事の意味、基礎の説明
	第2週 ノイズ 1 音に関するあらゆるノイズを聴く
	第3週 ノイズ 2 PCMレコーダーを使ってレコーディング（ノイズをあえて発生させてみる）
	第4週 ノイズ 3 PCMレコーダーを使ってレコーディングした素材を整音する
	第5週 フィールドレコーディング実習 1 学校外でPCMレコーダーでフィールドレコーディングする
	第6週 フィールドレコーディング実習 2 フィールドレコーディングした素材を整音し、発表する
	第7週 整音実習 1 課題整音素材を整音する
	第8週 整音実習 2 課題整音素材を整音する
	第9週 整音実習 3 ポエムをレコーディング（OKテイク、NGテイク ノイズあり）
	第10週 整音実習 4 素材をシャッフルし、各グループで整音する
	第11週 動画制作 1 1分尺の動画を撮影し、音をつける（整音作業前提）
	第12週 動画制作 2 1分尺の動画を撮影し、音をつける（整音作業前提）
	第13週 動画制作 3 1分尺の動画を撮影し、音をつける（整音作業前提）
	第14週 動画制作 4 1分尺の動画を撮影し、音をつける（整音作業前提）
	第15週 動画制作 5 1分尺の動画を撮影し、音をつける（整音作業前提）
	第16週 発表会 動画コンテンツ発表会
	第17週 前期まとめ 前期の復習をする

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

授業計画（後期）	第18週	izotope RX izotope RX の基礎的な使い方の説明
	第19週	izotope RX 実習 1 課題音を izotope RX を使用し整音する
	第20週	izotope RX 実習 2 課題音を izotope RX を使用し整音する
	第21週	フィールドレコーディング実習 3 学校外でPCMレコーダーでフィールドレコーディングする
	第22週	フィールドレコーディング実習 4 フィールドレコーディングした素材を整音し、発表する
	第23週	雑踏課題 1 具体的な雑踏音を再現する
	第24週	雑踏課題 2 具体的な雑踏音を再現する
	第25週	CM制作 1 30秒のCMを制作する（整音作業前提）
	第26週	CM制作 2 30秒のCMを制作する（整音作業前提）
	第27週	CM制作 3 30秒のCMを制作する（整音作業前提）
	第28週	CM制作 4 30秒のCMを制作する（整音作業前提）
	第29週	CM制作 発表会
	第30週	動画制作 1 5分尺の動画を撮影、編集し、音をつけ完成させる（整音作業前提）
	第31週	動画制作 2 5分尺の動画を撮影、編集し、音をつけ完成させる（整音作業前提）
	第32週	動画制作 3 5分尺の動画を撮影、編集し、音をつけ完成させる（整音作業前提）
	第33週	動画制作 4 5分尺の動画を撮影、編集し、音をつけ完成させる（整音作業前提）
	第34週	動画制作 発表会
教科書・教材	「なし」	
参考文献・資料	特になければ「特になし」	
履修上の留意点	特になければ「特になし」	